よつば

YOTSUBA

10周年

JA会津よつば

10年の感謝を込めて

2026 OCTOBER

10

No.128



特集　農業賞受賞者紹介

大地育み、幸せつなぐ

JA会津よつば

https://aizuyotuba.jp

会津農林事務所から

令和８年度 新規就農者等研修会のお知らせ

第１回　土づくり・施肥設計、ほ場整備について
11月11日13時00分～15時30分

第２回　農作業安全講習・農薬適正使用について
11月18日13時00分～15時30分

第３回　販路・販売対策について、新規就農者等交流会
11月26日13時30分～16時15分

第４回　農業簿記の基礎・農業経営上の税理について
12月２日13時30分～16時00分

※開催日・内容は変更となる場合があります。

詳しいお問い合わせ先
福島県会津農林事務所　農業振興普及部　TEL0242-29-5306

令和９年度 肥料・農薬の予約注文受付中



令和９年度用の肥料・農薬予約注文の提出はお済みでしょうか？

中東情勢悪化の影響などにより生産資材の価格は高騰しております。農業生産コストを低減するため予約価格にて購入いただきますよう、注文書の提出をお待ちしております。

理事会だより　※全議案可決承認されました

第７回理事会　　９月11日開催

議案第 １号　令和８年産米概算金並びに買取米価格の設定について

第８回理事会　　９月29日開催

議案第 １号　令和８年度上期決算及び下期対策について
議案第 ２号　当組合における取引のリスク評価書の定例改正について
議案第 ３号　信用事業方法書の一部変更について

CONTENTS：目次
2026.10月号 No.128

03 特集
農業賞受賞者紹介

06 トピックス

11 農業大学
収穫の秋！
これからおいしい
野菜・果実！

12 自己改革
新採用職員農家実習・
施設研修

13 暮らしの味方
坂下厚生総合病院

14 みんなの広場

16 チャレンジクロスワード
組合員資格確認

コメナルドを探せ！
今月も広報誌の中にいる
このコメナルド画伯を探してね！



広報誌９月号のわしは
ここにいましたぞ！
10ページ
上段左

会津よつば農業協同組合
〒965-0025 福島県会津若松市扇町三丁目５番地の６
編集／企画広報課　　TEL0242-37-2222（代）

JA会津よつば 公式 YouTube
ＪＡ会津よつば 公式 Facebook
コメナルド画伯公式 @Komenardo
ＪＡ会津よつば 公式 Instagram aizuyotuba

SDGs
JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

特集

第67回 福島県農業賞 受賞者紹介

9月4日、県内の農業分野で最も権威のある第67回福島県農業賞の表彰式が行われました。当JA管内からは農業経営改善部門で西会津町の長谷川秀力、伸枝さんご夫妻、南会津町のアグリサービス荒海株式会社の2組、新規就農部門で会津若松市の星めぐみさんが受賞しました。

特集では受賞した3組の方々をご紹介します。

長谷川 秀力 伸枝 さんご夫妻



積雪地で収益を通年化しながら、地域の生産基盤も支える点が長谷川夫妻の強みです。長谷川秀力・伸枝夫妻は、西会津町で水稲、きゅうり、冬季のスギ花粉採取を組み合わせる複合経営を実践。施設化や自動かん水、遅植えにより高品質・高収量を実現し、令和7年のきゅうり反収は10・2トン、農業所得は西会津町が掲げている目標を上回った。土壌分析に基づく栽培や病害対策を地域へ普及し、組合運営、学校給食への供給、冬季雇用の創出にも貢献。次世代への技術継承と法人化も見据える地域農業の担い手である。

アグリサービス荒海株式会社 渡部 和幸 さん



中山間地・南会津町で地域農業の維持を担う、アグリサービス荒海株式会社代表取締役。平成21年に水稲5haで認定農業者となり、遊休農地の再生と農地集積を進め、令和4年に法人化。令和7年には水稲48・8haを経営し、地域作付面積の約5%を担う。スマート農業、JGAP、みどり認定、複数品種導入で省力化・品質向上を図り、正社員3人を雇用。地域の担い手育成と持続可能な稲作経営に貢献している。

星 めぐみ さん



就農後わずか数年で規模拡大と経営安定を両立するには、栽培技術だけでなく計画性と販路づくりが不可欠です。星めぐみさんは令和3年に就農し、カスミソウを中心に花き栽培を開始。18a・5品目から、32a・ハウス3棟・15品目へ拡大した。露地と施設を使い分け、年間・週間・日々の作業計画で多品目生産を効率化。カスミソウなどをJAと小売店へ出荷し、付加価値を高めている。子育てと農業を両立しながら、見学受入れや後進支援、花束やフラワーアレンジの分野にも取り組む女性農業者のモデルである。

農業経営改善部門

仲間と地域を支える 西会津のきゅうり農家・長谷川さん



「一人ではできない仲間といっしょに」

福島県西会津町で、きゅうり栽培に取り組む長谷川さん。会社勤めを経て50歳前後で農業に本格的に踏み出し、露地栽培から始めた経営を、現在はハウス15棟規模まで育ててきた。そこには、栽培技術だけでなく、農業を仕事として続けるための工夫と、地域の仲間を大切にする思いがある。

長谷川さんは以前、会津坂下町の半導体工場に20年以上勤めながら、約7反の田んぼを耕していた。しかし会社の倒産を機に、友人の勧めで、きゅうり栽培を始めた。

最初の年は露地栽培だった。獣害を防ぐために畑の周囲を囲い、雨の日も合羽を着て収穫したという。その苦労から、翌年にはハウスを導入した。

「ハウスに入ったら、天気に左右されにくい。これはいい。違うなと思いました」

経営を考える上で大切にしてきたのは、「1年は12か月ある」という視点だ。「会社員は12か月働いて毎月給料をもらう。農業でも、サラリーマン並みの所得をどう得るかを考えた」と話す。最初は12棟を目安にし、少しずつ規模を拡大。現在は15棟のハウスで栽培し、最盛期には家族3人とパート6人の計9人で作業を行っている。

近年の大きな課題は夏の高温である。長谷川さんは、品種選びに加え、自動かん水設備の導入や作期の

農業経営改善部門

耕作放棄地の再生とスマート農業で、南会津の米づくりを次世代へ



守る再生おじさん」

荒海ファームの渡部さんが米づくりを始めたのは53歳の時。出発点は、買ってほしいと頼まれた4反歩の田んぼだった。トラクターと田植え機をそろえ、今年で稲作23年目を迎える。

当時は減反の時代で、地域には草が生い茂る田んぼが多く残っていた。渡部さんは、近隣農家の離農に伴って引き受けた農地や耕作放棄地を少しずつ再生し、経営面積を広げてきた。近年は、5町歩規模の農地をまとめて任されることもあり、経営面積はここ数年で倍になった感覚だという。

ただし、耕作放棄地の再生は善意だけでは続かない。木を伐採し、整地して田んぼに戻すには費用がかかる。形が悪い、狭い、傾斜があるなど、耕作をやめた土地には理由がある。

「良い土地と条件の悪い土地をセットで引き受けるなら、いくらでもやる」と渡部さんは語る。再生した農地で米をつくり、投資を回収できなければ、経営として成り立たないからだ。

新規就農部門

15品目の花と向き合う、星めぐみさんの農業



「振り返ると、また咲いている」

「この辺でもカスミソウが作れるんだ」

その気づきが、星めぐみさんの農業の第一歩だった。

もともと花が好きだった星さんは、カスミソウ農家との交流を通じて地域で育つ花の魅力に触れた。農家からもらった「染めカスミ」に心を動かされ、「自分もやってみたい」と栽培を始めたという。

栽培を学んだのは、地域の農家の現場だった。夫のつながりでほ場を見せてもらい、調整作業を教わった。自宅にも足を運んでもらい、カスミソウ以外の花も含めて指導を受けた。

「本当にやりたいなら、まず部会に入って、いろんな人と情報交換したほうがいい」

あいづ花き生産部会の仲間は、栽培技術だけでなく、農業を続けるうえでの大きな支えになっている。

1年目に育てた花は7品目。カスミソウを軸に、出荷のない時期を補う花を少しずつ増やしていった。育苗に失敗したり、暑さで枯れたりして、出荷までたどり着かなかった花もある。それでも、向かないと思った花は翌年に別の品目へ入れ替え、試行錯誤を重ねた。現在は15品目を栽培する。



みなさん
おめでとうございますですぞ～！

分散で対応してきた。15棟のうち10棟には自動かん水設備を導入。一部を7月上旬に定植し、お盆ごろから秋口にかけて収穫する作型も取り入れている。

設備導入の際、長谷川さんは自ら周囲の生産者に声をかけた。**「自分のためだけではなく、仲間と一緒にやることが大事なんです」**。この言葉には、地域で農業を続ける上で欠かせない考え方が表れている。

長谷川さんは、ホップやしいたけの栽培にも取り組んできた。山の資源を生かしたしいたけ栽培では、最盛期に5万本の原木を保有したという。地域で生産したものを地域で扱えるよう、農協へ働きかけた経験もある。

「農業も、儲かって面白くないと続かない。若い人に入ってもらうには、仕事として成り立たなければだめです」

農業は作物を育てるだけの仕事ではない。田畑や山、水路を守り、地域の高齢者が住み続けられる環境を支え、次の世代につなげる役割も担っている。

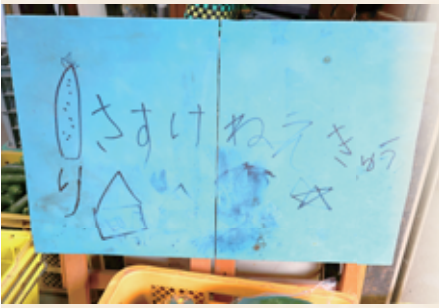
「一人で、家族だけで15棟をやっているわけではない。仲間がいる。人間関係を大事にしなければならない」

きゅうりは家族の食卓にも欠かせない。奥さまが作る一本漬けは孫たちにも好評で、部活動の試合や練習に持っていくこともあるという。畑で育てたミネラルきゅうりが、家族や近所の人との会話を生み、地域の日常につながっている。

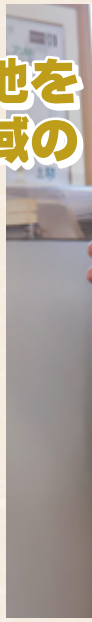
「一人では生きていけない。仲間がいて、楽しく生きながら、経営をしっかりやっていくことが大事です」

長谷川さんの農業は、栽培、経営、地域づくりを切り離さない。仲間と支え合いながら仕事を成り立たせ、地域に根を張る。その姿は、西会津で農業を続けることの確かな意味を伝えている。





「農地を地域の



将来を見据える上で、渡部さんが最も重要だと考えるのが基盤整備である。基盤整備が進めば、経営面積は約70町歩まで広がる見込みだ。大型機械を生かすには、まとまった区画が必要になる。中山間地では地形上の制約もあるが、**「基盤整備以外に農地を守る方法はない」**と力を込める。

荒海ファームでは、渡部さんを含めた5人で農業に取り組む。目標は規模を広げることだけではない。従業員が働き続けられ、頑張りを給与に反映できる会社をつくることだ。基本は週休2日とし、早朝勤務には手当を支給する。冬季は従業員をスキー場へ派遣し、農業だけでは不足しがちな年間の仕事を支えている。

米価の変動にも備える。前年からライスセンターを稼働させ、収穫した米を処理・保管し、販売時期を選べる体制を整えた。品種もコシヒカリ、ひとめぼれ、もち米などに分散し、今年は飼料用米にも取り組む。

省力化の柱として期待するのが完全直播栽培だ。田植えをせず、種もみを直接ほ場に播くことで、育苗や田植えの作業を減らせる。将来は経営面積の半分を乾田直播、半分を移植栽培とし、現在の体制で70町歩を管理する構想を描く。

「やった分は、従業員に返したい」。渡部さんが目指すのは、農地と雇用をともに地域に残す経営だ。耕作放棄地の再生、基盤整備、スマート農業を組み合わせながら、次世代が続けられる米づくりを形にしようとしている。





栽培面積は約32アール、ハウスは7棟。一つの花を大規模に作るのではなく、それぞれを少量ずつ栽培し、収穫時期をずらして春から晩秋まで出荷をつなぐ。

「多品目で勝負。出荷を途切れさせないように」

それが星さんのスタイルだ。

忘れられないのは、初めてカスミソウを育てた年のこと。収穫の適期が分からず、花を咲かせてから切っていたところ、一気に収穫期を迎えた。

「取って後ろを振り返ると、また咲いてる」

子育てと両立しながら、泣きながら収穫した経験もある。その経験から、カスミソウを増やしすぎず、多品目を組み合わせて自分たちの働き方に合う栽培を続けるようになった。

ススキのような草花や風船トウワタ、観賞用の赤いオクラ、ガイラルディアなど、珍しい花にも挑戦している。**「この辺では誰も作っていない花」を市場が評価し、注文やリピートにつながることが何よりうれしい**という。

冬には花のカタログを眺め、「これを作ってみたい」と翌年の計画を立てる。花を見る目は、農家になってから変わった。出かけた先でも、自然と「これは何の花だろう」と目が向く。

子育てをしながら、夫の指導とサポートを受けながら、二人三脚で営む今、無理に規模を追わない。忙しくても、自分で時間を調整できるため、学校行事や子どもの急な体調不良にも対応できる。**「会社勤めしながら、毎朝サポートしてくれる夫には感謝したいです。」**

花を育てることを楽しみ、花を贈ることを楽しみ、そして、花を通じて人とつながる。**「まだまだ作ってみたい花がある」**

星さんの農業は、そんな「楽しさ」を原動力に、これからも少しずつ広がっていく。





様々な話題をご紹介しますぞ！

生産者が意欲を持って続けられる価格形成の要請

昭和かすみ草振興協議会は8月27日、昭和かすみ草の生産振興と販路拡大を目的に東京都内の大田市場と板橋市場を訪問し、トップセールスを行いました。

同協議会や福島県会津農林事務所、事務局など12人が参加。

三瓶専務は「新たな生産者を育成し、100年続く産地を目指していく」と話しました。



▶あいさつする渡辺村長

国内最大級の水産物展示商談会でPR

JAのふるさと直販課は8月19～21日の3日間、東京ビックサイトで開かれた「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に参加しました。

「いなわしろ天のつぶ」と「いなわしろ天のつぶ　純米大吟醸」を寿司の酢飯や食前食中酒に提案し、試食、試飲でPRを行いました。



▶来場者は約3万人でした

女性部　東北北海道地区JA女性組織リーダーおよびフレッシュミズリーダー合同研修会

8月20・21の両日、ホテル福島グリーンパレスで合同研修会が行われ、当JAから11名が参加しました。

各県7名の発表者による活動や取り組み内容に共感し、会場から大きな拍手が送られました。

宴席では、あいづ地区の上野弘美さんの「会津磐梯山」の歌に合わせて盆踊りを楽しみ、笑顔あふれる交流のひとときとなりました。



▶参加された女性部のみなさん

シイタケ1億円へ協議

JAのしいたけ部会は8月21日、東京都大田区のJA全農福島東京園芸事務所で、シイタケの販売対策会議を開きました。

部会役員や生産者、JA、全農福島、市場関係者4社ら計14名が出席。

市場販売の情勢などを協議し、生産者とJA、市場が連携し消費者ニーズに応じた品質の高いシイタケを安定的に供給する重要性を確認しました。



▶あいさつする山口部会長

「ひとめぼれ」全量1等米

JAは9月11日、会津坂下町の75号倉庫で令和8年産米の初検査と初出荷式を行いました。

同町で収穫された「ひとめぼれ」1等26袋（1袋30キロ）をJAの審査員が検査し、全量1等米に格付けしました。

県会津農林事務所やJA全農福島、JA役職員ら約80名が参加しました。



▲サンプル米を抜き取る検査員

畜産発展へ命に感謝

JAは9月1日、喜多方市のJA畜産センターで家畜に対して感謝と冥福を祈る「畜魂祭」を開きました。

塩川町の駒形神社の本名利匡宮司によって神事が執り行われました。



▶各畜産部会の代表者ら45名が参加。

女性部
農青連

伝統の豊作祈願祭



▶切実な願いを胸に

JAの猪苗代地区の女性部と農青連は、8月18日（お米の日）、土津神社で伝統の豊作祈願祭を執り行いました。

農青連6名、女性部3名、JA担当2名が出席。宮澤重嗣宮司によりご祈祷が行われ、出席者一同は豊作を祈りました。

出席者は「気候変動の中生育状況が気になるが、なんとか平年並み以上になってほしい」と話しました。

「くみあい健康教室」開校

JAが主催する「くみあい健康教室」が始まり、8月25日に開校式と第1回目の講話を行いました。

会津みさと診療所の上野修一院長から生活習慣病の予防について話しを聞き、参加者は「認知症について深く学ぶことができ、大変参考になった」と話していました。

12月まで6回の講座を予定しています。



▲33名が参加しました

第2回アスパラガス部会現地指導会



▶露地栽培のほ場で説明を行う園田教授㊥

JAのアスパラガス部会は9月2・3日に管内5地区で今年度2回目となる現地指導会を開きました。

講師はJA会津よつば専属アドバイザーの酪農学園大学園田高広教授。2日間で118名の部員や新規就農者がほ場に参集しました。

園田教授は翌春の収量確保に向けた立茎期の栽培管理をテーマに、今後の茎葉管理、施肥・潅水・茎葉の刈り取りなどについて説明しました。

花き秋冬販売に期待

JAのあいづ花卉生産部会は8月28日、あいづ西部営農経済センターで秋冬期集荷販売対策会議を開きました。

会議には、フラワーオークションジャパンや第一花き、仙花、水戸中央花き市場の担当者、生産者ら25名が出席。

安定出荷と有利販売に取り組み、本年度は販売額2億円以上を目指します。



▲花き販売概況報告を聞く生産者ら

8月31日は野菜の日！

JAは8月31日、まんま～じゃで野菜の日イベントを行いました。

1000円以上お買いあげの来店者に「あっさり漬物の素1袋」「ナスの詰め放題」「チビじゃがいも1袋」などの粗品をプレゼントし、大変賑わいました。



▲ナスの詰め放題をする来店者

JA福島県職員連盟野球大会

8月29・30の2日間、第55回JA福島県職員連盟野球大会が二本松市の城山総合グランドで開かれ、参加した当JAの野球クラブは惜しくも入賞を逃しました。県内のJA、連合会から10チームが参加。

優勝はJAふくしま未来、準優勝はJA全農福島、3位はJA夢みなみでした。監査部監査課長の江川弘樹監督は「もう一歩のところで勝利を逃してしまった。チームの若返りを図りたい」と話していました。



▲当JA高田支店の川上大貴さんが選手宣誓

農業に対する感じ方が変わった

県立会津西陵高校の2年生3名が8月20日、坂下本店を訪れ、地域農業の現状や課題を学びました。

「観光・町おこし」をテーマに探求学習に取り組み、学んだ成果を生かし、農産物を活用した町おこしなどの考えをまとめます。

農業の担い手確保にむけ若い世代に農業に興味を持ってもらうための意見交換をしました。



▲熱心に話を聞く会津西陵高生

産地直送された南郷トマトを使用

南郷トマト生産組合の「南郷トマト」を使ったハンバーガー2種類が県民の日8月21日からモスバーガーで販売されました。

限定メニューは「モス野菜チーズバーガー」「チリバーガー」の2種類。

期間中は、限定メニューだけでなく生のトマトを使うメニューにも南郷トマトを使用しました。



▲南郷トマトを使った
2種類の期間限定バーガー

切花染色のやり方を学ぶ

JAのあいづ花卉生産部会は9月4日、あいづ西部営農経済センターで切花染め講習会を開きました。

宿根カスミソウの生産者を中心に8名の部会員らが参加。

講習会では、カスミソウなどの出荷用草花のほか、身近にある雑草などを参加者がそれぞれ持ち寄り、染色を体験しました。



▶くすみカラーや、絶妙なグラデーションのシックな色合いがトレンド

「JA産地振興・担い手実践北海道・東北ブロック大会（産地振興部門）」福島県予選会

JAのあいづ西部営農経済センターの室井寛太さんは、9月3日、JA福島五連ビルで開かれた標記予選会に出場しました。JA福島営農生活指導員協議会と中央会の共催。産地振興部門の営農指導員5名が活動発表を行いました。

室井さんは、「極上の会津米」の食味向上に向けて、と題し、「米・食味鑑定コンクール：国際大会」金賞受賞に向けた活動を発表し、優秀賞を受賞しました。



▶パワーポイントで説明する室井さん

りんどう目ぞろえ会

南会津花き園芸組合は9月9日、南郷花卉集荷場でりんどうの出荷規格の目揃え会を開き、7名が参加しました。

目揃えでは、参加者全員でりんどうの現品を確認し、荷造りや切り前のほか、花や葉の状態、ムレなどを細かく確認し、出荷時の品質基準を共有しました。



▲りんどうの切り前等を確認する参加者

JA福島営農生活指導員協議会 現地研修会

JA福島営農生活指導員協議会は9月9日から10日までの2日間、JA管内で令和8年度現地研修会を開きました。

他JA・他地域の特徴的な取り組みを学び、組合員への営農生活指導に生かすことを目的とし、特色ある農業経営や選果・予冷施設などを視察しました。

参加者は「南郷トマトの選果場や昭和かすみ草の雪室を見ることができ、ためになった」と話しました。



▶県内営農指導員、営農担当者、くらしの活動担当者39名が参加

まごころ斎苑感謝祭

㈱ＪＡ会津よつば総合サービスは９月23日、まごころ斎苑豊川で感謝祭を行い約５００名が来場しました。

人形ぬいぐるみ供養祭には３千５００体の人形が持ち込まれ、心を癒してくれた人形に感謝するとともに気持ちを込めて供養、お別れをしました。

その他に、ペット葬相談会やギフト・引き物関係の展示、葬儀の事前相談もありました。



▲子どもたちで賑わったキッズコーナー



▲思い出が詰まった人形に感謝を告げました

想像していた以上に大変

８月21日から９月４日の15日間、「福島県農業総合センター農業短期大学校」の鈴木結奈さんは、猪苗代町の小檜山栄喜さん宅で、履修科目の「先進農家等留学研修」を行いました。

研修では、カラーを中心に、選別、結束、水揚げ、箱詰めなどの出荷作業を体験し、圃場ではカラーの収穫方法、植え付け後のマルチ作業、畝立て、草取り、と花きに関する研修のほか、カボチャの収穫や田んぼでの作業など、季節に応じた幅広い農作業にも取り組みました。



▲カラーの花を摘みとる鈴木さん



▲鈴木さん（右）と小檜山さん（左）

農業経営に係る税務・経営等研修会の開催について

農業経営や農業情勢の変化に対応する研修会を開催します。

Ⅰ ソリマチ「農業簿記１３」研修会の開催

１．日　時　令和８年11月12日（木）（１）初めて利用する方：午前10時から午後３時ころ
（２）２年目以降の方：午後１時から午後３時ころ
※（１）・（２）共に15分前に来場してください。
２．場　所　パストラルホールＢＡＮＧＥ（坂下本店３階）
３．内　容　ソリマチ農業簿記ソフト操作研修
➡ ①複式簿記をパソコンで
②申告までの１年間の流れ（ソリマチ・農業簿記１３）
４．対象者　ソリマチ農業簿記ソフト利用者および利用を検討している方
➡ ①今年からソリマチ農業簿記ソフトを利用する方
②ソリマチ農業簿記を導入したが操作方法が不安な方
５．申込み　令和８年10月30日（金）まで（各営農経済センターへ）
６．講　師　ソリマチ株式会社、ＪＡ福島中央会　７．持参するもの　ノートパソコン（電源コード）

Ⅱ「マネジメントゲームによる経営シミュレーション研修会」の開催

１．日　時　令和８年11月19日（木）　午前９時から午後４時ころ
２．場　所　パストラルホールＢＡＮＧＥ（坂下本店３階）
３．内　容　ゲーム形式（人生ゲームに類似）で様々な経営・決算を体験する
➡ 経営を疑似体験できる実践型研修で経営者として考える力を身につける力を養います。
４．対象者　新規就農者等
➡ ・就農したばかりで経営の考え方を学びたい方　・売上や利益、お金の流れを理解したい方
・経営計画や目標の立て方を身につけたい方　・ほかの新規就農者と一緒に経営を学びたい方
５．申込み　令和８年10月30日（金）まで※定員になり次第申込みの受付を終了します。
６．講　師　株式会社戦略ＭＧ研究所　７．持参するもの　筆記用具（鉛筆・消しゴム）、電卓

参加を希望する方は、最寄りの営農経済センターへ申し込みください。※昼食を準備します。（申込の際に受け付けます。）

ペタンク大会

みなみ地区 9/15

管内6支部から23名が参加しました。
只見・くらし連合チームが優勝しました！



猪苗代支部 サテライトプラス活用講座

あいづ地区 9/15 部員23名

健康な体づくりや認知症予防につながるフレイル講座～足裏トレーニング～
体験キットを使って体を動かしました。



本郷支部 料理教室

みどり地区 8/26 部員17名

ばぁばの伝承料理と「家の光」に掲載された季節のレシピを組み合わせ5品を作りました。





柳津支部 ものづくり教室

みどり地区 8/27 部員14名

家の光に掲載された「カエルのキーケース」を作りました。難しいところもありましたが、かわいい作品ができました！



本郷支部 スマホ教室

みどり地区 8/24 部員15名

スマートホンの基本操作やLINEグループの活用方法、詐欺への対策などについて、日常生活で役立つ機能を楽しく学びました。



湯川支部 施設見学

みどり地区 8/28 部員17名

会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターと磐梯町の最終処分場を見学しました。
ごみを減らすことや資源を大切にする意識を再確認しました！



日帰り研修

あいづ地区 9/4

若松・磐梯・河東・猪苗代・北会津の各支部から40名が参加しました。
安達ヶ原ふるさと村とJAふくしま未来の農産物直売所「こらんしょ市」で、地元で生産された農産物や加工品を見学しました。
地域の歴史や農業に触れながら部員同士の交流を深めました！



県外研修（浪江町、いわき市、茨城県方面）

みどり地区 8/2.3 部員41名

震災遺構浪江町立請戸小学校と、とみおかアーカイブ・ミュージアムを見学しました。
地域の記憶を承継することの大切さや、複合災害が起きた場合に備える必要性について理解を深めました。
2日目は茨城県内の直売所や国営ひたち海浜公園などを楽しみました！





収穫の秋！
これからおいしい野菜・果実！

稲刈り終盤秋本番！
これから出回る秋の味覚を見分け方含めご紹介いたします。

豚汁の主役は豚肉？それとも？ 里芋

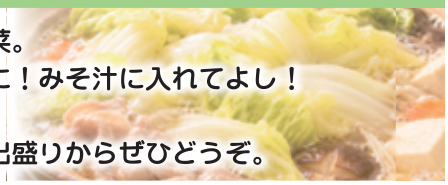
寒い日には豚汁に、
イカと煮物に、蒸かして肉みそで…
ねっとり美味しい秋の食卓の主役！



- 丸みがあってずっしりと重量感があり堅いもの。
- 表面のしま模様がくっきり平行に入っているもの、順調に生育した証。
- 傷やひび割れ、日が当たって緑に変色していないもの。

炒めて、煮て、漬けて！ 白菜

鍋と言ったら欠かせない白菜。
ほかにも漬物に！けんちんに！みそ汁に入れてよし！
これから冬を越すまで
ずっとお世話になる白菜を出盛りからぜひどうぞ。



- ずっしり重みを感じられるもの。
- カットされている場合は葉の間が隙間なくしっかり詰まっているもの。
- 芯が大きすぎず500円玉サイズくらいのもの。

秋の味覚の代名詞？しっとりほくほく さつまいも

昔ながらのほくほく食感の紅あずま、
最近はやりのしっとり甘い
シルクスイート、紅はるか。
あなたのお好みはどっち？



- 丸みのある紡錘形（ラグビーボール状）で凹凸が少ないのものはスジが少ないとされる。
- 皮の色にツヤがあり、ムラなく濃い赤紫色をしているものは育ちがよい。
- 切り口や表面にみられる黒い水跡は糖分が染み出て乾いたもの、甘い。

秋にうれしい赤いやつ、トンボに紅葉にやっぱり りんご

冬場の『ふじ』にたどり着くまで、多様な品種が次々出てくるりんご。
甘酸バランスの良い陽光・ジョナゴールド、
パイにジャム、加工するならやっぱり紅玉、
シャキシャキ歯ごたえでしっかり甘いシナノスイート・シナノゴールド、
蜜入りばっちりこうとく・ぐんま名月。
好みのりんごをみつけてみてはいかがでしょうか？



- ツルが太く、ツル元としりがどちらも深くくぼんで変形していないもの。
- 全体に色が回っていてツヤのあるもの。

ちょっと変化球！見つけたらうれしい名残の トマト

旬は夏の大玉トマト。
でも秋の涼しい気候でゆっくりと赤くなったトマトはとっても甘いんです。
収穫最終盤で水を切ったトマトはなお味濃く甘い！
この時期見かけたらぜひお試しあれ。



このほかにも秋の味覚がいっぱいのJA農産物直売所にどうぞお越しください！

新採用職員農家実習・施設研修

～現場を知り、学びを深める農家・施設研修～

第４次中期経営計画「人づくり戦略」および事業計画に基づき実施した農業体験に新採用職員８名が参加しました。

きゅうりやアスパラガスなどの出荷準備、ハウス内での管理作業、畑の整備作業を体験しました。農作物が消費者のもとへ届くまでに、多くの手間と工夫が重ねられていることを、現場で実感する機会となりました。



立花 友里さん　佐藤 璃乙さん　髙橋佳秀理事　三國 愛奈さん



立花　長時間立ちながら地道な作業を続ける農家の方々の大変さを実感しました。仲間と協力し、最後まで諦めずに取り組む姿勢を、今後の仕事にも生かしていきます。

秋山　普段食べている野菜が、多くの手間と日々の丁寧な管理によって作られていることを学びました。暑いハウス内での作業を通じ、一つひとつの仕事に丁寧に取り組み、周囲と協力しながら責任を持ってやり遂げることを大切にしていきます。

中村　暑いハウス内で、高い場所にも手を伸ばしながら作業を続ける農家の方々のご苦労を知りました。生産者の方が大切に育てた農産物に関わる責任を意識し、今後はお金を扱う業務にも最後まで慎重に取り組みます。

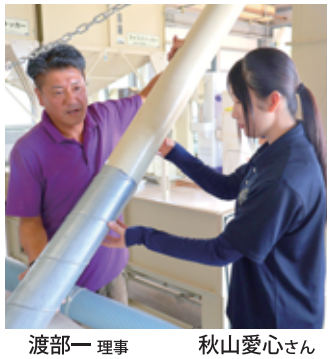


本田万修さん



髙野美心さん　渡部一理事　中村 望愛さん

本田　規格外品も肥料や加工品に活用するなど、農産物を無駄にしない工夫を学びました。単純に見える作業でも、形や構造を生かして効率よく進める方法を考え、仕事の中で早くコツをつかめるようにしていきます。



渡部一 理事　秋山愛心さん

三國　農業は厳しい仕事である一方、大きなやりがいのある仕事だと感じました。忙しい現場では、優先順位を考え、情報を共有することが欠かせません。窓口業務でも周囲の状況を把握し、的確に業務を進めていきます。

髙野　高低差のあるきゅうりの葉かきをすべて手作業で行う大変さを体験しました。厳しい暑さの中でも笑顔で作業する農家の方々を見て、前向きに行動する大切さを学びました。農産物を大切にするとともに、仕事でも笑顔を忘れず取り組みます。

佐藤　暑いハウス内での作業を通じ、農家の方が一人で幅広い作業を担っていることの大変さを実感しました。農家の方の体調にも気を配り、日頃から積極的に声をかけることを心がけていきます。



安達壽人理事　宮城菜々美さん



宮城　農家の方々が明るくあいさつを交わし、日頃からコミュニケーションを大切にしている姿が印象に残りました。使用しない道具を適切に片づけることや、雑草の管理が作物の生育に重要であることも学び、日々の業務に生かしていきます。

体験した作業内容

- 支柱の片づけ・仕分け
- ビニールシートの剥がし
- きゅうりの枯れた葉の除去
- きゅうり・アスパラガスの選別
- 段ボールの組み立て
- きゅうりの箱詰め
- アスパラガスの選別
- トマトのパック詰め
- ビニールマルチの回収
- 畑へのわら敷き
- 花の箱の結束・積み重ね
- 花畑の除草
- 水やり用ホースの回収
- ポールの仕分け

薬を飲むタイミングについて

坂下厚生病院 薬剤科 山本勇樹

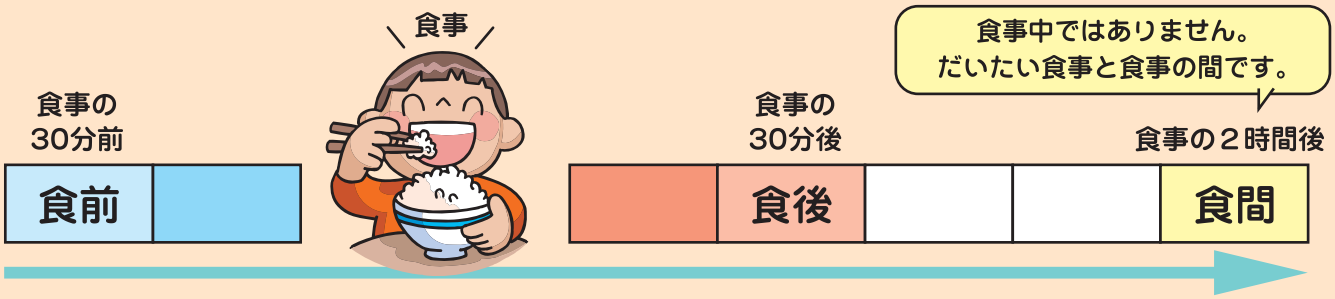


病院や薬局で薬を渡される時に「食間に飲んでくださいね」「食後の服用です」と言われ「食間？」「食後って…？」と迷ったことはありませんか。

「薬の服用時間」とは具体的にいつの事でしょう。薬を正しいタイミングで飲むことは、薬の効果を最大限に引き出すだけでなく、副作用を引き起こさないためにも大切なことです。

今回は服用時間の目安についてご説明します。

■ 薬の服用時間（目安の時間です）



「寝る前」
寝る前30分前

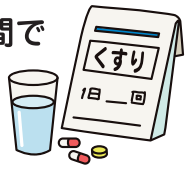


「頓服（とんぷく）」
症状が出た時にだけ

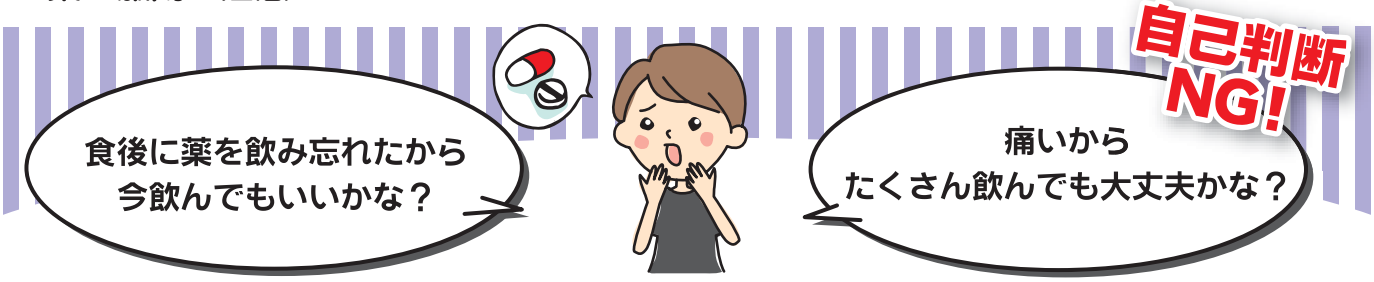


ほかにも様々な飲み方が存在します

- 「食直後」…食事の直後
- 「食直前」…食事の直前
- 食事の時間に関係なく医師の指示通りの時間で服用が必要な薬 など



■ 薬の服用の注意



適切な薬の飲み方が分からない場合は、自己判断で服用せず、主治医やかかりつけの病院・薬局の薬剤師に相談しましょう。

坂下厚生総合病院
〒969-6593　福島県河沼郡会津坂下町字上柳田2210-1　TEL 0242(83)3511

今月のお手紙

長雨が続いて、今年の稲作が心配です。今回のよつばの表紙はカラーが色とりどりできれいですネ。中身も見どころ満載で来月も楽しみです。（喜多方市　中嶋さん）

盛りだくさんの内容読み切るの大変!!（喜多方市　田部さん）

相撲大好き。9月号最高でした。大満足です!!（喜多方市　須田さん）

各地域の農地管理技術・交流に関する記事を望みます。（喜多方市　田村さん）

よつば場所すごく楽しかったです。JA職員のみなさまの尽力に感謝申し上げます。（会津若松市　佐藤さん）

毎号楽しく愛読しています。クロスワードパズルは会津の歴史や観光など大変勉強になり理解が深める事が出来ました。次回も楽しみにしております!（会津若松市　荒井さん）

大相撲初めて観戦できました。握手会にも参加し、近くで触れ合えるなんて最高でした。女性部の料理教室もとても良いですね～（会津若松市　遠藤さん）

表紙のカラーの写真がとてもステキです。よつば10周年おめでとうございます。（猪苗代町　小檜山さん）

特集の大相撲4ページの見ごたえのある場面は、その場所に行ったような感じになりました。

表紙も華やかな花で9月号も輝いています。（柳津町　斎藤さん）

暮らしの味方の「ノロウイルスの予防方法」「ノロウイルス食中毒予防の4原則」特によかったです。（会津坂下町　磯目さん）

9月号の大相撲特集とても見ごたえがありました。じっくり何回も読み返しました。別冊の力士の写真も迫力があり、我が家の宝物にしたいと思います。（会津坂下町　山内さん）

B-HAIR&CAFEさんが近く雰囲気も良さそうなので行ってみたいと思います。毎度楽しみに見ています。（会津美里町　佐藤さん）

会津17市町村トップセールスはインパクトのある取り組みだと思います。会津のPRのため今後も続けてほしいと思います。（下郷町　渡部さん）

9月号表紙のカラーの花に感激です。（下郷町　湯田さん）

中身の記事は勿論、クロスワードをとても楽しみにしています。相撲好きなので普段は見る事の出来ない場面の写真が沢山あり楽しく拝見でき良かったです。（南会津町　羽染さん）

秋ですね～♡もも、くり、かぼちゃ、ぶどうなど食欲の秋!!やめられません・・・♡（南会津町　仲川さん）

毎月広報誌をPCで閲覧してパズル楽しませていただいております。パズルはボケ防止に役立っております。（東京都　久保田さん）

広報誌をいつも楽しく拝見しています。近畿ではまだまだ暑さが厳しいですが、先日上空の空には秋の雲が見られました。確かに暦では立秋を過ぎており先哲の偉大さを感じました。（京都府　小森さん）

ノロウイルス用の消毒液の作り方を覚えておこうと思います。広報誌を印刷して保管します。（愛知県　北野さん）

美味しいものがどのような工程、どんな努力で消費者に届くのか少しわかって勉強になります。（神奈川県　菊地さん）

いつも楽しく拝見しています。（大阪府　たろやんさん）

文芸のひろば

道ばたの黄蝶二羽と遊んでいる俺も入れてよそのお話に　柳津町　菊地　義隆

黄金穂は秋の扉を押し開き入るは出るは渋沢栄一　会津坂下町　定

旧友と六十代に旅をせし「鉄道の旅」見てかの地をたどる　喜多方市　大竹　恭子

踏まれても刈り取られてもまた咲いたおじぎ草の美しき花　会津若松市　原　慎理子

ナス三つ友にあげれば次の日に笑顔の友がブドウ持ち来る　南会津町　大竹　幸一

車窓より二股山の遠く見ゆ気高き雄姿青空に映え　南会津町　星　保子

遠くより祭りばやしの音がする小さき稚児の明るい声が!!　会津坂下町　佐藤シン子

妖艶な色と臭いを放ちつつ何を惑わすぼたん臭木よ　南会津町　平野ツル子

色んな人より胡瓜を沢山貰い塩漬けにて食べ美味しく　南会津町　岩下つよ子

願いせしパンツのL判求めたり腰痛悩み嘘のごとしも　喜多方市　樋口　和男

必ずや死が訪れますが願います笑って生きつつ笑顔で逝きたし　喜多方市　樋口　宏

朝日受け白鳥一羽樹の上に時々はばたく赤白な羽根を　会津若松市　佐藤　郁子

「コラァ待て」と人目気にせず追いかける大根の葉を荒らすコオロギ　北塩原村　武藤　敏子

新しきシルバーカー押し庭に立つめぐりのトンボふわふわと飛ぶ　会津坂下町　齋藤ケイ子

長雨に刈り取り思い空眺め　会津坂下町　渡部　淳

拳ほどの大きな無花果捥ぎにけり　柳津町　斎藤　泰花

成長はお金は出すが口出さず　会津若松市　五十嵐幸枝

布団に入る今日の反省すぐ忘れ　会津坂下町　荒井　茂

リフレッシュ収穫終わって朝風呂へ　只見町　吉津　政一

背伸びして青芒（あおすすき）刈る老いの汗　西会津町　長谷川　誠

夏も過ぎ毎晩虫のコンサート　喜多方市　結城志英吉

豊作や稲穂の振れぞ風匂ふ　喜多方市　広瀬　敏雄

今月の絵手紙



片桐 貴子
（湯川村）


星 恵美子
（南会津町）


齋藤 ケイ子
（会津坂下町）



平野 シマ子
（会津坂下町）



山田 博子（会津美里町）



大堀 郁子
（会津坂下町）



梨子本 和子
（会津坂下町）


那知上 洋子
（会津坂下町）



大竹 智恵子
（会津坂下町）



蓮沼 智子（会津坂下町）



仁國シズ子（喜多方市）

今月の面白写真



某呑み処笑いを誘います
高畑 郁子（会津坂下町）



幸福な青蛙
猪俣 かず子（柳津町）


南郷トマトです
五十嵐 正雄



残間 智江子（会津坂下町）


ミニチュアすいか！本物です！
山内 和代（会津美里町）


茄子の五姉妹
渡部 勉（昭和村）


いろいろできました！
佐藤 敬一（柳津町）



渡部 久子（会津坂下町）

みんなの広場お便り大募集

8月号 応募総数 195通 | うちクイズ応募数 173通（正解者 173通）

このコーナーでは
みなさんの声をお待ちしていますぞ！
写真やイラスト、川柳や短歌、
おもしろ野菜、手芸など
なんでも募集しますぞ！



メールでの応募はこちらから♪

宛先

〒965-0025 会津若松市扇町三丁目５番地の６
ＪＡ会津よつば　みんなの広場係 行

お問い合わせ

総合企画部　企画広報課
TEL：0242-37-2450 メール：info@aizuyotuba.jp

注意事項
- **誌面の都合上、ご投稿いただいた作品のすべてを掲載できません。**
- 掲載にあたりペンネーム希望の方はご記載ください。
- ご投稿いただいた作品は返却いたしません。また、お送りいただいた作品（絵手紙・写真など）の著作権はＪＡに属します。
- ご投稿いただいた内容は、意味などを変更しない範囲で校正させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※各地区の広報誌配布時期により、掲載月が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。

組合員の皆さまへ　組合員資格確認について（お願い）

当ＪＡ組合員の皆様におかれましては、組合員届出事項や組合員資格要件に変動が生じた場合、定款の定めるところにより、速やかに書面にて届出いただくことになっております。下記のような変動があった場合には、お手数ですが最寄りの当ＪＡ各支店にてお手続きいただきますようお願い申し上げます。



〈主な変動事由〉

（1）組合員がお亡くなりになられた場合
（2）当ＪＡに届出している基本情報（姓、住所等）が変更になる場合
（3）（2）のうち当ＪＡが管理する地域以外に転出する場合
（4）職業として新たに農業に就農した場合、もしくは離農した場合（※組合員資格変更届）

【当ＪＡの組合員資格】※当ＪＡの地区は、福島県会津地方17市町村全域となります。

●正組合員資格

（1）10アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。
（2）1年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。
（3）農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの。

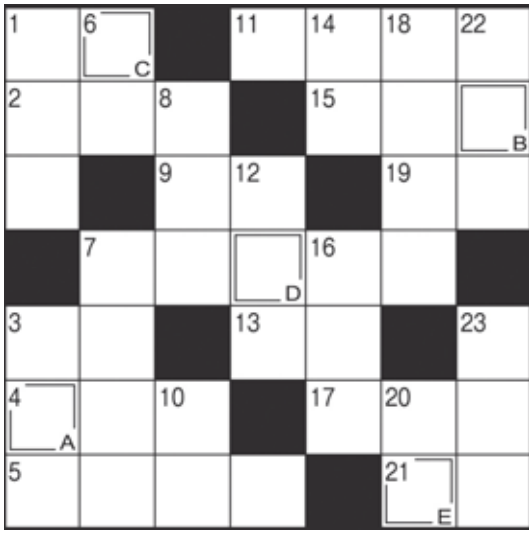
●准組合員資格

（1）この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの。
（2）この組合の信用事業、または購買事業、または販売事業、または共済事業を1年以上継続利用している、組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。
（3）この組合の地区外に住所を有する個人で、購買事業、または運搬・加工・貯蔵及び販売事業、または当組合が管理する特例農地を1年以上継続利用し、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。

チャレンジクロスワードパズル



Q 二重マスの文字をＡから順に並べてできる言葉はなんでしょう。



タテのカギ

1 会津で馬刺しのたれと言えば、やっぱり「――味噌」ですね
3 会津若松市の「紀州園茶舗」、会津に280年続く――家の一族が創業とか。当家は相模三浦氏の一族だそうです。
6 会津伝統野菜のひとつ、「会津小――南瓜」
7 運動会の競技のひとつ
8 鶴ヶ城天守閣の2体のしゃちほこ、瞳の真ん中に輝くのは大きな――
10 えんぺらがある魚介類
12 ＪＡ会津よつば「極上の会津米」は、常に〝――〟改善を行う産地を目指して取り組んでいます
14 夫の配偶者です
16 皮がむきやすい黄色い果物
18 秋桜ともいわれる花
20 いざというとき、体を膨らませる魚
22 酒などを買う前に、味や香りを確認
23『考える人』で知られる彫刻家

ヨコのカギ

1 ＪＡ会津よつばは昨年、タイやカンボジア、台湾に輸出しました
2 ヒトコブだったりフタコブだったり
3 味噌煮にしてもおいしい魚
4 元のものから分かれ出ること。新たな問題が――する
5 鶴ヶ城の城址公園内にかかる橋は、鮮やかな朱塗りの――が特徴ですね。かつては屋根付きの橋だったとか。
7 「高校生のための新しい自分を見つける講座」あいづ――。会津地域内の高校生が対象。悩みの多い高校生に多様な価値観に触れてもらう講座。
9 会津若松市河東町八田の戸ノ口原に、子供の足を触れさせると夜泣きが直ると伝わる「夜泣き――」があるとか
11 転居、屋移りともいいます
15 漢字から作られました
17 歯を抜くときにかけるもの
19 会津若松市は令和7年3月1日から、職員の――のデザインを変更。所属をより大きな文字サイズ、名字はひらがなとアルファベットで表示
21 鶴ヶ城本丸への正面玄関、「鉄（くろがね）――」。木製の扉と柱が鉄で覆われていることからそう呼ばれる彼はクラスで――を抜いて足が速い

☆今月のプレゼント☆

パズルの正解者の中から抽選で10名様に**まんま～じゃ店長おすすめセット**をプレゼント！

締切 令和８年11月５日（木）消印有効

応募方法 ハガキまたはメールにて ①答え ②郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号 ③ご意見、ご感想をご記入のうえご応募ください。

宛先
〒965-0025
会津若松市扇町三丁目５番地の６
ＪＡ会津よつば クイズ係行
メール：info@aizuyotuba.jp

※個人情報は景品発送準備以外の目的には使用しません。

「よつば」９月号 クロスワードパズル答え

クツワムシ



※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

福地▼少し前まで「暑い！」と言っていたのがうそのように、朝晩は涼しくなり、すっかり秋らしくなってきました。過ごしやすくなった一方で、今年はインフルエンザも早く流行しているそうです。おいしいものが増える季節でもありますので、しっかり食べて、しっかり休んで、元気に秋を楽しみたいですね。
矢部▼秋になり朝晩は少しずつ肌寒さを感じるようになりました。今月号は地域の出来事や農業に関する話題などたくさん掲載しています。盛りだくさんの内容ですのでぜひご覧ください。
星▼広報誌は毎月、各部署の担当で構成する広報編集委員会で特集テーマ・取材先・割り付け・スケジュールを決めています。なので、いきなり校了直前にこれを入れろ・削れ、とか言われると大変😠記事の取材先にも迷惑が。無神経、無理解にはホトホト😭